

東日本大震災

名古屋って、あったかくて、いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやのお知らせ

令和6年1月25日発行 (第147号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、隔月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX:052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



本年もどうぞよろしくお願いいたします。2024年が始まってすぐに能登半島地震が北陸地方を襲いました。現在、名古屋市社協も被災地入りをし、地元社協の災害ボラセン応援に力を尽くしているところです。今後ますます寒さが厳しくなりそうで、被災地が心配ですが、名古屋にお住いの皆様におかれましても、くれぐれもご自愛ください。

あったか芋煮交流会を開催しました！！



昨年12月17日(日)に愛知県被災者支援センターさん、めぐりあいの会さんと3者共催で「あったか芋煮交流会」を開催しました！！

当日は、気温が少し低かったものの、晴天に恵まれ、屋外で芋煮づくりと餅つきを実施できました。

スタッフ含め、総勢60名弱の参加があり、ボランティアだけでなく、参加者の方にも餅つきを楽しんでいただくことができました。

前日に集まれるボランティアで芋煮ともち米の下ごしらえを済ませておいたお陰で、当日はスムーズに調理がスタートできました。何事にも事前の準備が大切ですね！

会の途中では、ピアノやヴァイオリンなどの演奏でクリスマスソングを披露していただき、会場も大変盛り上がりました♪

当日ご参加いただいた皆様ありがとうございました。今回は都合がつかなかった方もまた次回お待ちしております。

皆さんでおしゃべりしながら、楽しい時間を過ごしませんか？

次回のお茶っこサロンは来年度の予定をしております。次回以降も皆さんに楽しんでいただける企画を実施できたらと思っています。

「こんなことやりたい・やってみたい」のお声をいただければ、ボランティアの方々と開催に向けて企画を練っていきます。ぜひぜひご連絡ください！



被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います現在参加者がなく、一時休止中です。いつでも再開できますので、ご興味ある方は是非ご連絡ください。

会場：名古屋市総合社会福祉会館6階 録音編集室 (北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物：はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ 材料費：1回500円~(実費相当)



◎12月10日(日) 名古屋市総合社会福祉会館にて

名古屋市ボランティア連絡協議会が主催するイベント「まなびの場」にて、Aさんから岩手県での被災体験について語っていただきました。地域でボランティア活動をされている方、ボランティアに興味のある方にお集まりいただき、当時の被災体験や、今に至るまでの道のりを当時の写真等を示しながらお伝えいただき、参加者一人一人の防災意識を高めるとともに、被災者への理解を深めました。

◎1月12日(金) 愛知淑徳大学にて

愛知淑徳大学が開催しているふれあい・いきいきサロンにて、Bさんから宮城県での被災体験について語っていただきました。発災当時の様子から復興が進んだ現在の街の様子等をスクリーンに映しながらこれまでの経緯をお話いただき、その後、各テーブルを回って参加者の方と様々な意見交換を行いました。

◎1月17日(水) ウィンクあいちにて

コープあいち組合員の勉強会にお呼びいただき、Cさんから宮城県での被災体験について語っていただきました。被災したご自身の自宅の写真等を振り返りながら、震災に対して日頃から備えておくべきことについて共有しました。

引き続き地域の皆様からたくさんのご依頼をいただいております。

「語り部ボランティアに興味がある！」という方からのご連絡お待ちしております！

どうぞよろしくお願いいたします♪